

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
-----	-------	-----	----------

件 名	自治会活動による地域の交流、地域づくり活動のあり方について
状 況 等	<p>地域の基礎的コミュニティである自治会活動による交流は、人と人をつなげ市民の幸せな暮らしと安心感を生み出す貴重な場であるものと考えています。</p> <p>一方で、市民の意識やライフスタイルが多様化する中、地域活動への参加者が減少し、役員の担い手育成にも苦慮しているものと思われます。</p> <p>自治会活動などは負担に感じることもあると思いますが、市民の多様性を認め合い、地域内の緩やかなつながりにより、誰もが参加しやすい雰囲気づくりを築きあげていくことが大切であると考えます。</p>

件 名	市民が交流できる場所について
状 況 等	<p>市内の各地域には、市が設置した地区コミュニティセンターや地域が所有する地区集会所などがあり、地域の自治活動や趣味の集まりなどに活用されています。</p> <p>多くの集会所では、老朽化に対する対応も課題となっており、市の補助制度と地域の負担を合わせて対応することとなります。また、集会所の新設についても同様の対応になりますが、用地の問題や市の予算の関係もあり、現時点では、すぐに対応できないのが現状です。集会所は、地域活動の拠点であり、重要な施設であると考えますが、市内全域において、地域における課題の整理、地域の合意形成と資金状況及び市の予算状況を考慮しながら、優先順位をつけての対応になります。</p>

件 名	ビッグルーフ滝沢の活性化について
状 況 等	<p>ビッグルーフ滝沢は、指定管理者による年間40種類に及ぶ自主事業や民間企業、サークル、NPO等団体によるイベントも多く実施されており、開館から約2年で来館者100万人を達成するなど、多くのにぎわいを創出しております。</p> <p>産直やレストランからなる『たきざわキッチン』においても、季節のメニューや健康に配慮した無添加のメニューを開発するなど工夫をこらしているところですが、産直においては品物の充実などの課題もあり、生産者の皆さんと連携を図りながら充実を図る必要があると考えています。</p> <p>ビッグルーフ滝沢は、「みんなでつくるふれあいの大屋根」のコンセプトのもと、市民の皆さんの手で創り上げていく事を目指しています。これからも、皆さんの声と皆さんの手によってより良い施設に成長し、多くの賑わいを創出できるよう努めていきます。</p>

件 名	LGBTについて
状 況 等	<p>LGBTに関しては、性の多様性、学校や職場、日常生活の中など、身近なところに悩んでいる方がいるということ意識することが大切であるとともに、理解し認め合うことが必要であると考えます。</p> <p>「たきざわ輝きプラン2～滝沢市男女共同参画計画～」では、平成30年度に中間見直しを行い、性別、年齢、国籍等に捉われずに他者を認め合う意識づくりを新たな課題とし、今後、多様性の考え方やLGBTに関する周知に取り組むこととしています。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	交通安全施設(信号機、横断歩道等)の設置要望について
状 況 等	<p>信号機、横断歩道等の設置、交通規制の要望や停止線の補修等につきましては、毎年各自治会及び学校から要望を提出していただいております。それらの要望を取りまとめ、所管の警察署を通じて、公安委員会に毎年要望書を提出しておりますので、一度お住まいの地域の自治会にご相談いただければと思います。</p> <p>また、新規交通規制の設置につきましては、設置に至る基準の範囲内であるか、交通量や事故の発生状況、設置の効果や緊急性等から判断し、より必要性の高いものから実施することとなっておりますので、複数年にわたる要望であっても、実現が難しい場合もございます。</p> <p>カーブミラーや赤色回転灯など、市で管理している施設につきましては、条件等を検討し、必要に応じて設置、修繕等進めております。</p>

件 名	防犯灯の設置要望について
状 況 等	<p>防犯灯の設置要望につきましては、各自治会より、毎年設置要望を提出していただいております。これらの要望を受け、各箇所の状況に応じて、毎年10箇所程度の設置を進めております。今後も、優先順位を定めながら設置を推進してまいります。</p> <p>また、管理につきましても、各自治会から修理、交換要望を受け、予算の範囲内で故障箇所の修理を進めており、環境負荷軽減等の観点から、防犯灯のLED化を推進しております。</p>

件 名	交通安全対策について
状 況 等	<p>交通ルール(スピードの出しすぎ、迷惑駐車等)の指導につきましては、市内交通安全関係団体及び交番、駐在所等と連携し、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上を図るとともに、違法情報につきましては、速やかに警察に通報のうえ、情報を共有し、交通安全対策を推進してまいります。</p>

件 名	警察署、交番等の設置要望について
状 況 等	<p>交番等の設置、移設の要望につきましては、昼夜の人口や世帯数、面積、事件や事故の発生状況等から都道府県警察等が判断することとなっております。また、警察署は、管轄が他市町に跨る広い範囲となることから、滝沢市にのみ集約することは難しいと考えます。</p>

件 名	防災対策(避難所等)について
状 況 等	<p>市内に発生する災害としては、地震、風水害及び岩手山の噴火を想定しており、危険箇所等の災害情報については、市民の皆さんへ防災マップの配布をはじめ、広報誌による防災特集号の掲載や、市ホームページ等により周知を行っております。</p> <p>また、平成30年度滝沢市総合防災訓練は、台風により中止となりましたが、水防訓練を実施したほか、各自主防災組織でも、避難訓練や初期消火訓練等の防災訓練を実施していただいております。また、地域防災力の向上に努めているところであります。また、避難所は、逐次指定を取り進めているほか、企業との災害協定を取りかわす等、防災力の向上に努めているところであります。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	防災行政無線について
状 況 等	<p>防災行政無線につきましては、高い、低い、聞こえにくい等、様々なご意見をいただいております。その都度対応しておりますが、非常に難しく、苦慮しているところです。</p> <p>防災行政無線だけの情報伝達では限度があるため、現在市では、多様な手段による情報伝達を行っており、市ホームページへの掲載、電話応答サービスによる応答、メール(いわゆるモバイルメール)やスマホアプリ(滝沢NAVI)での配信を行っております。</p> <p>特に、携帯電話をお持ちの方が増えてきておりますので、いわゆるモバイルメールへの登録、又は、スマホアプリを入れていただくだけで、随時情報がお手元に届く大変便利なものとなっております。ぜひご利用していただければと思います。</p> <p>その他、緊急時には、携帯電話やマスコミ各社に一斉に情報配信を行い、緊急速報メール(通称:エリアメール)の配信やテレビ、ラジオ等を通じて情報を入手することができるようにしています。</p>

件 名	運転免許証自主返納時の補助について
状 況 等	<p>高齢者の交通事故は、以前は被害者となる場合が多くありましたが、最近では高齢者の運転による人身事故等が大きな問題となり、本市でも高齢者の交通事故防止に取り組んでいるところであります。</p> <p>本市においては、運転免許証自主返納者の数は平成28年では99件、平成29年では122件となっており、年々増加している状況です。</p> <p>全国的には、民間企業の協力により商品の割引や商店街のポイント付与等を行っている地域もありますが、本市単独でのサービスは考えていないところであります。</p> <p>本市としては、交通安全教育専門員により、高齢者を対象に交通安全教室を実施しておりますので、その教室の中で、高齢者の事故の増加、運転の危険性を説明しながら、運転免許証の自主返納を進めてまいります。</p>

部 名	市民環境部	課 名	環境課
-----	-------	-----	-----

件 名	市営墓地について
状 況 等	<p>宗派を問わず利用できることから、公営墓地を希望される方が増えてきていますが、墓地造成や維持管理には多額の費用が必要となります。市内には、お寺が管理している墓地に、宗派を問わず利用できる墓地が相当数あることから、市営墓地の整備は検討しておりません。</p>

件 名	火葬場について
状 況 等	<p>現在、他自治体の火葬場を利用いただいておりますが、その際には費用が一定額を超えた場合補助を行っております。</p> <p>火葬場の整備には、施設整備や維持管理に多額の費用が必要となり、火葬場の整備は検討しておりません。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
-----	-------	-----	-----

件 名	ごみ問題について
状 況 等	ごみの問題は、二酸化炭素の発生による環境への影響負荷にもつながり、大事な問題です。市では、市民団体等で組織する「ごみ減量化推進委員会」を設置し、平成30年度策定予定の「ごみ減量化行動計画」に基づいて、ごみの発生抑制、再使用、再生利用を進めるため、広報やホームページを利用して、周知、啓発を行ってまいります。

件 名	自然環境保全について
状 況 等	市では、市内6河川9カ所から年2回河川水を採取し、水質検査を行っております。また、大気汚染状況については、県で測定を行っており、結果についてはホームページで公表しております。豊かな自然環境は、滝沢市にとって貴重な財産の一つです。今後も保全にむけて努力してまいります。

件 名	ごみ集積所について
状 況 等	ごみ集積所の設置については、利用戸数などの基準を定めております。新設、変更等の申請の際には、事前に地元自治会や滝沢・雫石環境組合にご相談をお願いします。

件 名	悪臭について
状 況 等	市に悪臭についての相談・苦情が寄せられた場合、原因者に対して内容を伝え、改善するようにお願いする措置をとっておりますので情報をお寄せください。

件 名	住宅地等からの草木について
状 況 等	市に住宅地等からの草木についての相談・苦情が寄せられた場合、原因者に対して内容を伝え、改善するようにお願いする措置をとっておりますので情報をお寄せください。

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	ふるさと交流館での住民票等の交付について
状 況 等	住民票等の交付などの取り扱いについては、本人確認の重要性や記載内容の守秘の観点から、市役所又は出張所等で職員が直接交付することが原則となっております。このことから、指定管理となっている滝沢ふるさと交流館での住民票等の交付には、法令の規定により、交付できる証明書の制限や法令に関する知識、守秘義務の徹底、文書の取り扱いなどの徹底が必要となり、現状での実施には課題が多いものと考えています。しかしながら、高齢化社会などを背景とし、将来を見据えた諸証明の円滑な交付には様々な要因や法令の改正などが必要と考えておりますので、今後、検討が必要な事項であると捉えております。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	福祉の充実、障がい者に対する取り組みをもっと充実させてほしい
状況等	市民の意向を把握し、必要な方に必要な障がい福祉サービスが提供できる取り組みを強化し、更なる福祉の充実に努めてまいります。

件 名	障がい者がサービスを使いやすくする工夫をもっとあれば良い
状況等	市民の皆さまがより満足していただくことができるよう、障がい福祉サービスの相談支援体制を整えるとともに、障がい者福祉ガイドブック「ともに歩む」等を活用しながら必要なサービスが利用できるよう努めてまいります。

件 名	障がい者施設の防犯をもっとしっかりやってほしい
状況等	施設利用者が安心して利用していただけるよう、防犯対策等についても障がい者施設と連携しております。今後も、施設と連携を図りながら、更なる防犯対策の強化に努めてまいります。

件 名	福祉の専門分野の担当者が不在の時の対応を改善してほしい
状況等	職員の人材確保、育成に努めながら窓口対応体制を改善するとともに、それぞれの福祉分野に携わる関係課とも連携強化を図ってまいります。

件 名	障がい者が安心して暮らせるようにしてほしい
状況等	地域福祉課内に設置している市基幹相談支援センターを中心に、関係機関と連携しながら相談支援体制の充実強化を図り、必要としている障がい福祉サービスを提供するとともに、誰もが地域で安心して暮らせるよう支援してまいります。

件 名	障がい者の補助を拡充させてほしい(滝沢は1～2級、盛岡市は1～5級)
状況等	具体的な制度がわかりません。重度身体障がい者医療費助成であれば、保険年金課となります。

部 名	健康福祉部	課 名	生活福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	母子家庭や低所得者層への保護の充実について
状況等	生活保護の基準や要件は法令によるため、市が変更できるものではありませんが、わかりやすい制度説明や必要となる支援をする等の運用面での充実をしてまいります。

件 名	福祉の専門分野の担当者が不在時の対応について
状況等	内部研修や情報共有等により、不在時でも一定の対応ができるようにしていますが、更なる体制強化を図ります。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
件 名	保育施設の不足、保育所待機児童の解消について		
状 況 等	平成27年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」に併せて、「滝沢市子ども子育て支援事業計画」を策定し、計画推進に取り組んでいるところであります。平成29年度にはこの計画の中間評価を実施しましたが、国の保育無償化により保育ニーズも拡大することが考えられることから、今後も保育入所枠の拡大と保育士確保の支援など、関係機関と協力しながら待機児童解消に向けて努めてまいります。		
件 名	放課後児童クラブの充実、利用料金について		
状 況 等	放課後児童クラブの整備については、滝沢中央小学校の開設に伴い学区内に新設学童を建設しているところでありますが、その他については就学児童数や利用状況の把握に努め、学区内の放課後児童クラブ間で調整を図りながら、大規模学童の解消に向けて、支援単位の拡大など、関係機関の協力を得ながら進めてまいります。また、放課後児童クラブの保育料については、それぞれの父母会や運営法人がクラブの実情に応じて決定しております。各クラブは、国、県及び市の負担による委託料と保護者からの保育料によって運営されておりますので、保育料の負担についてご理解をお願いいたします。		
件 名	ひとり親への支援について		
状 況 等	ひとり親家庭への支援は、国においても児童扶養手当の児童数に応じた加算額の見直し、保育料等の軽減の拡大等により充実が図られてきております。また、市においては母子父子自立支援員を設置し、各種相談に応じておりますので、さらに周知に努めてまいります。		
件 名	子育て支援の充実について		
状 況 等	核家族化の進行、就労環境の変化等、子どもと家庭を取り巻く環境の変化により、子育てを社会全体で支援していく必要性が認識されるようになり、国においては、「子ども・子育て関連3法」を制定し、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。市においても、平成27年度から平成31年度までの「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、安心して産み育て、働くことができる環境の整備に取り組んでいるところです。子育て支援策は、この計画に基づき、充実に努めてまいります。		
件 名	子どもの遊び場について		
状 況 等	既存施設の滝沢総合公園にはアスレチック、ビッグルーフ滝沢にはキッズルーム等があり、自由に利用ができます。この他、就学前の児童が対象とはなりますが、市内4か所の保育園に設置している地域子育て支援センターやふるさと交流館において開設するわんぱく広場(日時限定)等により遊び場を提供し、併せて子育ての情報の提供や育児相談、同年代のお子さんを持つ親同士の交流を支援していますので、利用について、さらに周知を図っていきます。大規模な子ども向けの施設の設置や、児童館については、いまのところ考えておりません。		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	高齢者支援課
-----	-------	-----	--------

件 名	高齢者等の移動手段について
状 況 等	市では、すべての市民が利用することができる「福祉バス」を運行しておりますが、陸大学の趣味の教室や講座にあわせた運行経路・運行時間となっております。民間のバス事業との関係から路線等の競合を避ける必要もあるため利便性の向上は難しい状況ですが、そのなかで経費節減や改善を行ってまいります。

件 名	介護保険制度における介護保険料や高齢者施設の整備等について
状 況 等	特別養護老人ホームなどの入所施設の整備や介護保険料については、介護保険サービス利用量の見込み等を見据えて検討し決定することとされており、介護保険料は、高齢者の増加や介護サービスの利用の増等で今後も増加していくことは避けられない状況であります。また、特別養護老人ホームについては、第6期介護保険事業計画で整備される予定の施設が平成30年度になる予定であります。入所待機者数等をふまえて平成30年度から平成32年度までの間に整備する計画はない予定となっております。元気に暮らしていただくために介護予防事業も展開しておりますが、これにより介護サービスの利用量が減ることになれば介護保険料の増加を抑制することにもつながります。なお、介護保険料の金額、施設の整備等については、介護保険制度で3年毎に策定される計画のなかで検討されることとなっておりますので、平成33年度以降については未定となっております。

件 名	高齢者が集う場について
状 況 等	陸大学では、趣味の教室や教養講座を開催しており、教室の参加者の人数等をふまえながら高齢者の方々が集い学ぶ場を設けております。外出の機会を増やし、交流をすることで元気に暮らしていくことにもつながりますので積極的にご参加ください。

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
-----	-------	-----	------------

件 名	高齢者独居世帯等が安心して暮らせる対策について
状 況 等	地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者世帯や独居高齢者世帯の方々に対しての訪問や、相談窓口、各種事業等において、健康状態や生活状況の把握・相談等を行っております。必要に応じて専門的なサービス等につなげ、また、自治会や民生・児童委員、老人クラブなど、地域の関係者の方々と連携しながら、安心して暮らすことができるよう高齢者の自立支援を図っております。

件 名	認知症に関する講座や介護教室について
状 況 等	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、市では様々な講座や介護教室を開催しています。認知症を正しく理解し地域で支えるための認知症サポーターの養成講座や上級者講座の開催、気軽に相談や交流ができるよう認知症カフェ等についても関係機関とともに取り組んでおります。また、症状の進行に合わせた支援内容をまとめた認知症ケアパスのなかで、講座等の周知も行ってまいりますので、今後も普及啓発に努めてまいります。

件 名	福祉の専門分野の担当者が不在の時の対応について
状 況 等	専門的な対応が必要な場合には、担当者へ引き継ぎが必要な場合もありますが、円滑に引き継ぎが行えるよう職員間での情報共有等努めてまいります。

件 名	地域包括ケア推進における、地域や医療機関、高等教育機関とのつながりについて
状 況 等	地域包括ケアの推進においては、地域ネットワークの構築や、関係機関との多職種連携が必要不可欠であります。地域包括支援センターでは、医療介護連携推進事業や生活支援体制整備事業、地域ケア会議をはじめとする、各地域支援事業の実施のなかで連携に取り組んでいるところです。今後も、自分らしく安心した暮らしの実現に向けたしくみづくりに努めてまいります。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	不妊治療費の全額助成等の支援があっても良い		
状 況 等	<p>市の特定不妊治療費の助成につきましては、県の助成交付決定を受けた方を対象として、治療に要した費用から岩手県の助成金を控除した額の2分の1と10万円を比較して少ない方の額を、1年度あたり1回を限度として助成しております。保険診療の適用とならない特定不妊治療の費用は高額であり、妊娠を望み、不妊に悩む方が治療を受ける際の経済的負担を軽減するために、今後も助成回数等の見直しも検討しながら、継続して助成を行っていきたいと考えています。</p>		
件 名	健康の予防に対する取り組みは現在も充実しているが更なる向上と継続をしてほしい		
状 況 等	<p>滝沢市健康づくり宣言を契機として、さらなる健康づくりの取り組みの充実を図れるよう、健康づくり宣言参加団体等(団体・企業等)に啓発を行い、一人ひとりの健康づくりを地域全体で支えられるよう、環境づくりに努めてまいります。</p>		
件 名	さまざまな検診が高齢者では無料となっているが高齢者は保険料も1割負担なので検診は有料でも良いのではないかと、若い世代を優遇して受診率を上げた方が良い		
状 況 等	<p>現在、市のがん検診では、70歳以上の方の検診料金を無料としております。がんの発見率は年齢が上がるほどに高くなり、また70歳以上の方の中には市町村民税が非課税世帯の方も多いためです。高齢者の受診機会の確保とがんの早期発見、早期治療により治療費も削減できる等の利点もあることから、今後も継続してまいりたいと考えます。</p> <p>若い世代の健康診査については、40歳以上の国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査を多くの市民が受診しやすいよう、無料で実施しており、今後も継続していく予定です。</p> <p>また、19歳～39歳の国民健康保険加入者を対象に、健康診査受診費用の助成(上限あり)を実施しております。</p>		
件 名	岩手健康管理センターで乳がんや子宮がんの検診をできるようにしてほしい		
状 況 等	<p>現在、市が実施している乳がん検診、子宮頸がん検診につきましては、市内6か所の会場での集団検診の他に、盛岡市内を含む医療機関での個別検診を行っております。がんの検査は専門性が高く、検査を実施できる医師・医療機関も限られており、精密検査の実施までを含めると、対応可能な医療機関は少ない状況にあります。多くの女性が受診しやすい体制の整備について検討したいと考えております。</p> <p>※人間ドックを希望する40歳以上の方へは、料金の一部助成も行っており、滝沢市の他、岩手健康管理センターを含む盛岡市内の7つの医療機関等でも受診が可能となっております。</p>		
件 名	健康で寝たきりの人を増やさないように市からも働きかけてほしい		
状 況 等	<p>滝沢市では、少子高齢社会が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、健康づくりの啓発を行うことで健康寿命の延伸を目指すことを目的に、滝沢市健康づくり宣言を行っております。健康づくりや介護予防のための知識の啓発に関しては、地域での健康教室や介護予防のためのサロン等において、各種講師や保健師等が行っております。今後は、健康づくりに消極的な方へも届くような啓発の仕組みを工夫してまいりたいと思っております。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	病院を増やしてほしい、総合病院があれば良い、病院の充実		
状 況 等	<p>滝沢市内には、2つの病院と19の診療所、21の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、市民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により、休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により、盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>また、岩手医科大学付属病院が矢巾キャンパスへ移転後も、既存施設を活用した初期救急を含めた病院機能を維持する予定となっています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続してまいりたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。</p>		
件 名	検診を安く種類を増やしてほしい		
状 況 等	<p>市町村で行われるがん検診は、地域におけるがんの死亡率を減少させることを目的に実施されています。滝沢市では、「がん検診実施のための指針(厚生労働省健康局通知別添)」に基づき、検診の有効性が確立されている胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん検診を実施しているほか、前立腺がん検診や健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として、骨粗しょう症予防検診、肝炎ウイルス検査を実施しております。</p> <p>がん集団検診の自己負担料金については、実際にかかる料金の3割(子宮頸がん・乳がん個別検診は2割)を目安に設定しており、70歳以上の方や低所得者の方は無料となっております。</p> <p>検診の内容等については、今後、指針が変更になった際は、検討してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	保健活動を充実させてほしい、市内で保健師さんの姿を見たことがない		
状 況 等	<p>保健活動には、市の健康課題を把握し、市民の皆さんと共有すること、保健計画等の策定や施策化、保健サービス等の提供(予防を重点においた保健活動、効果的な健康診査や保健指導)、地域のケアシステムの構築など様々な活動があります。また保健師は、現在、健康づくりや母子保健を担当する健康推進課、高齢者の総合相談支援や介護予防事業を担当する地域包括支援センター、障がい福祉を担当する地域福祉課、国保特定健診や特定保健指導を担当する保険年金課の4課に配置され、各分野で活動しているところです。</p> <p>現在、保健師の地域活動では、市の健康課題を市民の皆さんと共有する「地域健康づくり連絡会」を30自治会で開催し、個々の健康づくりへの動機づけや地域での取り組みをともに考える活動を行っています。また、担当地区の健康づくり支援者と協働しながら、健康教室等を開催しております。</p> <p>市民の皆さんが、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、今後も検診事業や健康教育・相談事業等の保健サービスの提供や健康づくりを進めやすい環境を整備し、健康寿命の延伸やQOL(人生の質)の向上を目指してまいりたいと考えております。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	乳児の健診やフォローアップ、訪問はとても質が高く満足している		
状 況 等	<p>市では子どもたちが安心して暮らせるように、「滝沢市母子保健計画」に基づき、乳児健診や家庭訪問等育児支援事業を実施しております。保健師・助産師などの専門職が、きめ細かく相談支援を行っており、サービスの質に満足との評価を頂き、大変嬉しく思います。平成30年4月より「滝沢市子育て世代包括支援センター」を健康推進課内に設置し、妊娠、出産、子育ての不安や悩みについて、より相談しやすい体制を整えております。今後も妊娠期から、出産、子育て期へと切れ目ない支援を行ってまいります。</p>		
件 名	福祉の専門分野の担当者が不在の時の対応を改善してほしい		
状 況 等	<p>健康推進課においては、保健師・助産師等の専門職が配置されており、妊娠・育児、各種健康相談を行っております。妊産婦や乳幼児の相談については、平日は子育てダイヤルでも対応しており、夜間や休日に関しては留守番電話機能で相談を受け付けて、折り返し当課から電話を入れることで対応しております。</p> <p>当課においては、事業の担当者(専門職)がいない場合でも、他の担当者(専門職)が対応できるような体制にしておりますが、相談が同時時間帯に集中した場合は、一時受付をして後程対応させていただく場合もあります。今後も、市民の皆さんが安心して相談が出来るような体制づくりについて検討してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	がん検診の無料化		
状 況 等	<p>がん検診は、40歳から69歳までの方から自己負担料金を徴収させていただいております。自己負担料金は、実際に検診にかかる料金の3割を目安にし、残りの7割は市が負担しています。また、70歳以上の方や低所得者の方については無料で実施しています。</p> <p>滝沢市のがん検診は、「がん検診実施のための指針(厚生労働省健康局通知別添)」に基づき、がんの予防において死亡率減少効果があると科学的に認められた検診内容を実施しております。</p> <p>今後も、最新の知見である国の指針に基づき、がん検診の普及啓発に努めるとともに、有効性のあるがん検診の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p>		
件 名	がん検診等病気や健康への関心を高められるイベントを増やしてほしい、健康を守るための運動や食に関する講話等を行ってほしい、市民が健康を学ぶことにより医療費が減ると思う		
状 況 等	<p>市においては、がん等の病気や健康への関心を高められるイベントについて、ビッググループやふるさと交流館等の大きな会場でのイベントの他、各地域での健康教室や体育協会と連携した運動教室等、様々な方法で実施しております。今後も、滝沢市健康づくり宣言を契機として、各団体や企業等とともに、健康づくりのための各種イベントや健康に関する講座の開催を検討してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	出産ができる産婦人科がほしい		
状 況 等	<p>滝沢市は、岩手西北医師会の協力を頂きながら各事業を行っておりますが、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、市民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続してまいりたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	病院の効率が悪く、待ち時間が長いので健康診断も行きづらい
状 況 等	健康診査につきましては、岩手西北医師会の協力をいただきながら事業を実施しておりますが、健診の待ち時間が長いという点につきましては、今後、西北医師会にお伝えし、協議してまいりたいと考えております。

件 名	月々の負担以外にインフルエンザなどの予防接種の助成も手厚くしてほしい
状 況 等	滝沢市は、予防接種法で定められた定期予防接種について、公費負担を実施しております。高齢者対象のインフルエンザ予防接種については、定期予防接種として予防接種法で定められており、これに準じて、高齢者の接種費用の公費負担を実施しているところです。 また、小児対象のインフルエンザの予防接種は、任意の予防接種ではありますが、一部公費負担を実施しております。 しかし、その他の予防接種においては、公費負担を行っていない状況です。今後も、国の定期予防接種計画の動向に合わせて、検討してまいりたいと考えております。

件 名	地域医療の充実
状 況 等	少子高齢化の進展に伴う今後の医療需要の変化を踏まえ、地域における限られた医療資源を効率的に活用し、安心して医療を受けられるようにするためには、引き続き診療所や病院など各医療機関の持つ機能を明確にした上で、適切な役割分担と連携により、切れ目ない医療提供体制の構築に取り組んでいくことが求められます。 滝沢市は、岩手西北医師会の協力を頂きながら各事業を行っておりますが、医療資源に恵まれた盛岡市に隣接しており、滝沢市、盛岡市の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。 今後も市民の皆さんが安心して医療を受けられるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続してまいりたいと考えています。

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
-----	-------	-----	-------

件 名	子どもの医療費について
状 況 等	滝沢市の子ども医療費助成は、岩手県の子ども医療費助成を基準に、滝沢市独自の助成を追加した形で実施しております。 岩手県の子ども医療費助成の対象は、「未就学児が入院と入院外」、「小学生が入院のみ」となっており、所得制限が設けられています。 滝沢市の子ども医療費助成は、県の対象に加えて、県の所得制限を設けたうえで「小学生の入院外」を助成しています。 県内他市町村の状況をみると、対象を高校生までとしたり、県の所得制限を撤廃するなどしています。 本市では、限られた財源の中で大変厳しい状況はありますが、現在、子ども医療費助成対象拡大の検討を進めていることから、正式に決まりましたら公表させていただきます。 なお、子どもの医療費助成については、日本全国どこに住んでいても同じ水準で助成を受けられることが望ましいことから、国に少子化対策の一環として子どもの医療費助成制度を統一することを要望するとともに、県に子ども医療費助成制度の拡充を要望しており、今後も継続して要望してまいります。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	経済産業部	課 名	商工観光課
件 名	チャグチャグ馬コのPRについて		
状 況 等	<p>イベントへの出演要請等に応じて、県内外へチャグチャグ馬コを派遣してPRしておりますが、そういった活動を今後も継続してまいります。また関係団体等と連携しながら、パンフレットやポスター等によるPRも行っていきたいと考えております。</p> <p>チャグチャグ馬コは盛岡市、矢巾町とともに行っている行事ですが、蒼前神社や岩手山を含めた田園風景は滝沢市でなければ見られない風景であることをPRし、滝沢市への誘客に努めてまいるとともに、チャグチャグ馬コ発祥の地である滝沢市のPRに努めてまいります。</p>		
件 名	岩手山麓の自然を生かした観光について		
状 況 等	<p>鞍掛山、岩手山の雄大な自然を楽しんでいただくため、施設を管理していくとともに、多くの方に親しんでいただけるようイベントも関係団体と協力し実施してまいります。また、施設・設備の修繕についても、施設の利用者から意見を伺いながら実施してまいります。</p> <p>今後とも、関係団体と協力し、自然資源を活用した観光で地域を盛り上げる取り組みを実施してまいります。</p>		
件 名	特産品について		
状 況 等	<p>観光資源のブランド化を促進し地域経済の活性化を図るため、特産品の開発を支援し、普及を推進していきます。クイックスイートの芋焼酎「馬芋ん」、りんごワイン「ポム」、日本酒「鞍掛山」、りんご「滝沢はるか」や滝沢スイカ等、ネットショップや各種イベントを通じてPRを行っております。</p> <p>ビッグルーフ滝沢のオープンにより、市内の特産品や土産品がたきざわキッチン内で購入できることとなりましたので、指定管理者や観光協会と連携しながら販売方法を工夫するなどし、より多くの方に足を運んで頂き、購入していただけるようPRしていきたいと考えております。</p>		
件 名	地域を巡るツアーについて		
状 況 等	<p>工芸や、乗馬など市内には体験ができる施設が複数ありますし、観光施設も各所にあります。そういった施設を訪れるツアーを行うことで、市内外の方に滝沢市の魅力を知ってもらう機会につながるものと思いますので、市観光協会や関係団体と連携しながら検討してまいります。</p>		
件 名	滝沢市産業まつりについて		
状 況 等	<p>滝沢市産業まつりですが、平成30年度から事務局を滝沢市商工会が担うこととなり、より一層親しみやすいイベントを目指して、名称を新たに「滝祭」として開催いたしました。</p> <p>今年度は新たな体制で様々な内容を盛り込んだこともあり、より多くのお客様にご来場いただきましたが、駐車場の混雑などの課題もあったことから、来年度に向けて、市としても事務局である滝沢市商工会をしっかりとサポートしながら、より良い内容になるよう取り組んでいきたいと考えております。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	企業誘致について
状 況 等	<p>本市の企業誘致につきましては、土地利用に関する法令による規制から、新たに大規模な工場等を誘致することは難しい状況にあります。</p> <p>しかしながら、近年のICT産業の成長により、広い土地を必要としないIT企業の誘致につきましては、岩手県立大学ソフトウェア情報学部、滝沢市IPUイノベーションセンターを中心に、岩手県、岩手県立大学及び滝沢市で連携した誘致活動を進めています。このような取組の成果として、岩手県立大学前にIT企業の集積をめざし整備された、滝沢市IPUイノベーションパークは、平成30年2月に1社目が立地し、平成31年度には、新たに2社の立地が予定されています。</p> <p>今後とも、ICT産業の集積をめざし、企業誘致を進めてまいります。</p>

件 名	雇用の確保について
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に市が設置した滝沢市IPUイノベーションパークへの企業誘致を進め、新たな雇用の創出に努力する他、既存の市内企業とIT企業とのコラボレーションを進めることで、市内企業の生産性の向上を図り、持続的な経営を維持することで、安定的な雇用の確保をめざします。そのためにも、既存企業とIT企業との交流、事業連携の機会を積極的に創出してまいります。</p> <p>また、大学生に市内企業を知っていただくため、市内企業を巡るバスツアーなどについても注力してまいります。</p>

部 名	経済産業部	課 名	農林課
-----	-------	-----	-----

件 名	特産品の開発について
状 況 等	<p>現在、市の「特産品」として挙げられる代表的な物に「西瓜」がありますが、岩手県内においては一番の生産量を誇っております。例年7月下旬に行われている盛岡中央卸売市場での「初セリ」では、年々高値を更新しており、県内では高い評価をいただいておりますが、全国の西瓜産地と比べますと生産量は低く、なかなか立ち行かない状況でもございます。一方、「林檎」となると岩手県全体が全国で4番目の生産量を誇っており、市場を通して首都圏にも多く流通しております。</p> <p>こういったことから、それぞれの特性、状況をしっかりを見据え、そのものを活かせるステージでのPRを行っていく事で生産者所得の向上を図り、市の特産品振興に繋げていきたいと考えます。</p> <p>また、地場産品については、地元で愛される商品であることが第一条件であり、市民一人一人にリピーターとなっていただく必要があることから、魅力あふれる高品質な商品作りにも力を入れてまいりたいと考えております。</p>

件 名	酪農について
状 況 等	<p>現在、酪農経営に対して市が行っている事業は、生後6か月以上から出産2ヶ月前まで放牧や牛舎飼育により、労働力軽減を図る「相の沢牧野管理事業」や、酪農ヘルパーを利用した際の助成、乳質向上に向けた活動に対する助成などを各農業協同組合の協力をいただきながら行っております。また、国庫補助事業ではありますが牛舎を新築するなどの労働環境の改善を図る「畜産クラスター事業」を各クラスター協議会より要望を受けて実施しております。</p> <p>酪農経営については、搾乳牛80頭以上を飼養している大型経営体と20頭規模の小規模経営体と経営内容が様々であるため、農業協同組合を通じて経営改善に対する要望を受けたり、または関係機関との連携や情報を共有し事業を推進しております。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	新規就農者の支援について		
状 況 等	<p>新規就農相談を受けた際には、希望者の現状の把握に加え、就農に対してどの程度のビジョンを持っているか等の導入から、制度の説明、フォロー体制の説明等を行っています。新たに就農を希望する方については、まずは相談に来ていただくことが第一歩です。</p> <p>また、既に就農している方については、何か困りごと等が発生した際には気軽に相談にきていただけるよう、農業経営指導マネージャーを中心に関係機関とともに対応してまいります。</p> <p>滝沢市は若手の農業者の方々が多く活躍しており、活発に活動していますので、その方たちと連携を取りながら、または市内の農業農村指導士などの協力を頂きながら充実した支援に繋がるよう取り組んでまいります。</p>		
件 名	産直の充実について		
状 況 等	<p>本市においても、産直施設は地元農業の発展に大きく寄与しております。そして、消費者の皆様方にとっても、「地元で収穫された安心な食材を安く購入できる」施設として愛されており、売り手・買い手双方にとって満足度の高いものとなっております。</p> <p>しかしながら、市近郊の大手スーパーの充実や、他産地からのスピーディーな流通体系などもあり、運営組合などは日々試行錯誤しながら売り上げの増加を図っている状況であります。また、農業者の高齢化や次世代の担い手不足などから、これからの農業に対しての不安も多く抱いております。</p> <p>市といたしましては、大きく変化している農業情勢を見据え、国・県及び関係機関と連携を図りながら、市全体の農業の充実、そして皆様にも今と変わらない地元産品を届けることが出来るよう取り組んでまいります。</p>		
件 名	食の安全や農業について学ぶ機会について		
状 況 等	<p>「無農薬栽培」は、農薬・肥料を使用した栽培よりも栽培技術(特にも土づくり)を有するためなかなか難しいものではありますが、無農薬栽培を行っている農家の方はいらっしゃいます。農薬等の使用については、適正な使用方法や使用量などを厳守し、また食品トレーサビリティの取組を推進することが必要と考えます。</p> <p>その方々を含めた農家さんたちとの交流を通じて、「地産地消」や「食の安全・安心」、「食育」などを皆様と考える機会を提供できるよう努力してまいります。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市内の公共交通について		
状 況 等	<p>滝沢市の公共交通については、高齢者、公共交通不便地域の市民、さらには今後増えてくる免許返納者の移動手段の確保が課題となっております。</p> <p>市では、人口減少、少子高齢化、マイカー依存等の影響により、公共交通、特にも路線バスの利用者が減少する中、将来にわたり持続可能で地域にとって望ましい公共交通ネットワークを構築するため、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「滝沢市地域公共交通網形成計画」を平成29年9月に策定したところであります。</p> <p>今後は、本計画に定める施策を展開し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進するとともに、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p>		
件 名	市内のバス運行について		
状 況 等	<p>本市は、盛岡市のベッドタウンとして発展してきた経緯があり、盛岡市内への通勤、通学の需要が多いことから、市内のバス路線は盛岡市中心部へのアクセス路線が主であり、市役所周辺への路線をはじめ、市内地域間を結ぶ路線は少ない状況にあります。</p> <p>市内の地域間を結ぶ路線の運行については、交通事業者による新規路線整備や公費による新規運行は、現在のところ難しい状況にあり、公共交通の認知度向上、待合い環境及び乗り継ぎ環境等の改善を推進し、現行の路線バスや鉄道、タクシー等を活用しながら、利用しやすい公共交通網を検討してまいります。</p> <p>また、駅やバス停まで遠いなど、地域によって交通需要が異なることから、地域の皆さんと意見交換しながら、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p> <p>路線バスは、需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、マイカー依存等による利用者減少、運転手不足等から、年々路線の縮小、廃止を余儀なくされている状況にあります。また、過去に菓子地域の循環バスや、菓子地区から市役所周辺までの民間路線バスを運行しましたが、利用者が少なく廃止に至った経緯もあり、地域生活の足を守るという観点から、今後とも公共交通の積極的なご利用をお願いいたします。</p>		
件 名	公園の遊具更新、整備について		
状 況 等	<p>現在、市には滝沢総合公園をはじめ、市内に192箇所の公園が設置されており、公園及び遊具のほとんどは、民間宅地開発の際に設置されたものであります。老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めており、今後におきましても、利用状況やニーズを把握しながら計画的に更新を進めてまいります。</p> <p>また、現在新たな公園の整備は計画されておきませんが、自治会へのアンケート調査などの結果を踏まえながら、公園の統廃合を含めた整備について検討してまいります。</p>		
件 名	市営住宅の設置について		
状 況 等	<p>現在、市には一本木地区に10棟の市営住宅がありますが、全戸入居済みであり、新たに入居を希望する方へのご要望にはお答えできない状況となっております。市営住宅の設置の手法としては、市による住宅の建設、買い取り、借り上げなどの形態がありますが、いずれも相当の公費を要するものであり、慎重な検討が必要となります。</p> <p>また、盛岡市近郊の住宅地である本市においては、現在、多様な住宅の供給は充足しており、市営住宅によらずとも、一定のニーズに応じた住宅の確保が可能と捉えており、現在のところは、市営住宅の新規整備の計画はありません。</p> <p>市営住宅の設置については、社会情勢や住宅情勢の変化や需要の動向を踏まえて、今後必要に応じて検討してまいります。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	中心市街地、商業施設等について
状 況 等	<p>中心市街地の形成については、本市の課題と捉えており、「第1次滝沢市総合計画」において、市役所周辺を対象に、日常的なサービスを提供する商業・業務、行政、医療・社会福祉、教育の各機能の向上や市内の交通結節点としての機能の強化を図るとともに、市民がふれあい、交流するための都市の中心を担う拠点の形成を図ることとしております。</p> <p>今後とも引き続き、魅力ある中心市街地の形成のため、関係機関等と協議調整を進めてまいります。</p>

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	市道の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪状況により除雪に長時間を要した場合などで、各地区間での除雪時間差等が生じ、各家庭で除雪した後に除雪車が入った場合もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったと認識しております。除雪作業は、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより、大きく完了時間は左右されますが、初期除雪の徹底など作業業者と連携して、スムーズな除雪を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。なお、平成26年度からは各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど試行錯誤しながら、地域にあった除雪が行えるよう努力しております。また、30年度からは、夜間についても職員によるパトロールを実施し適切な出動判断に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出動を指示する場合があるため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○圧雪凍結での段差など危険箇所の解消と幅員の狭い道路の除雪 道路が凸凹とならないよう均一的に作業を進めるほか、交差点やカーブなどは見通し悪化に配慮するなど、各地区の積雪特性や重要ポイントなどを整理検討し、冬季間の交通安全を確保しています。</p> <p>また、幅員の狭い道路につきましては、安全確保のため雪の寄せ方等の工夫により少しでも幅を確保できればと考えていますので、地域の皆様と情報交換を重ね、より良い除雪を進めていきたいと思っております。</p> <p>○私道などの除雪対策 私道の管理は所有者や使用者によることとなっております。私道への支援として、一定の要件はありますが除雪費の補助を行っておりますのでご利用ください。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員不足に苦慮しており、それに伴い除雪業務の受託業者も年々減少しています。除雪業者は減少していますが、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため、業者への負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民、業者との理解促進と協働除雪の意識醸成を図っていきます。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	市道の新設改良について
状 況 等	<p>滝沢市の道路整備計画により、効率的かつ効果的な整備を目指しております。</p> <p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から、交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 幹線市道と国・県道の整備、市総合計画等と整合した一体的整備が必要な箇所について、優先的に進めております。 また、側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っているほか、低騒音・排水性舗装なども進めております。</p>

件 名	市道の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について、維持管理を行っております。</p> <p>また、舗装の全面補修や側溝の設置など費用のかさむ工事については、滝沢市の道路修繕計画の中で、緊急性や危険度を検討し順次整備を進めています。</p> <p>○市道維持管理全般 管轄する道路等について、日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修等はその場で行うなど迅速化を図っています。しかしながら、市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間で把握することは難しいため、道路を利用される皆様からの情報提供をお願いいたします。</p>

部 名	都市整備部	課 名	河川課
-----	-------	-----	-----

件 名	川が増水した時の対処について
状 況 等	<p>近年の豪雨に対して安心安全な生活を提供できるように、河川維持管理事業、改修事業及び下水道事業(雨水)による浸水対策を総合的に実施し、危険箇所の修繕や抜本的な改良等、効率的な対策を検討してまいります。</p> <p>また、平常時から定期的なパトロールと施設管理を実施しており、加えて降雨時におけるパトロールを強化するなどの対応と、関係する各課各部署との情報共有と連携を図り、対応しているところでありますが、更なる減災に努めてまいります。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	上下水道部	課 名	水道総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	水道を公的機関で管理し民営化は受け入れないでほしい
状 況 等	このたびの水道法改正におきまして、三本の柱の一つである官民連携の具体的施策として挙げられているコンセッション方式の導入につきましては、当市のような小規模の水道事業にはなじまないものであり、かつ民間企業が撤退した場合のリスクの懸念もあることから、現時点で検討する予定はございません。

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	水の安全について
状 況 等	滝沢市の上水道の原水は、平成8年度以降、表流水(河川水)主体から、岩手山麓に豊富に存在する地下水・湧水を主体として浄水しております。 これらの地下水・湧水は、水温水質が一年を通じて安定しており、大腸菌等の細菌類も検出されず、おいしい水と評価されており、平成30年度の浄水に対する地下水比率は、98%になると見込まれております。 なお、危機管理の観点から、一部浄水場では表流水(河川水)を使い浄水しておりますが、降雨等による水質悪化時は、表流水の取水を停止し、全量を地下水を原水とし浄水しております。 また、水道施設については、監視カメラや警備システムを配備し、外部からの侵入を防ぐ対策をとっています。

件 名	上水道の整備について
状 況 等	上水道について、給水区域内の場合であれば、水道を必要としている方が、必要な口径で必要な場所までの工事費等を負担してご利用いただいております。なお、私道であれば、埋設される水道管も個人の所有・管理となります。 また、給水区域内で公道に面している場合、「未給水地域解消事業における配水管整備要綱及び取扱要領」により、3件以上の既存住宅が給水申し込みすること等を要件に市で公道内の配水管を整備する制度があります。

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
-----	-------	-----	------

件 名	下水道の整備要望について
状 況 等	滝沢市の汚水処理については、平成29年3月策定の「下水道事業概成アクションプラン」に基づき進めております。処理方法につきましては「公共下水道への接続」もしくは「合併処理浄化槽の設置」が主となり、区域ごとに効果的に汚水処理ができるように計画が策定されています。 公共下水道については、どのような条件下でも全域に整備するというものではなく、市街化区域や人口が集中する地区などを設定したうえで、滝沢公共下水道事業計画に基づいて整備しております。 公共下水道の計画区域でない地域については、原則として合併処理浄化槽の設置による水洗化をすることとなります。滝沢市では当該地域での浄化槽の設置に対して経費補助事業を行っております。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	教育委員会	課 名	教育総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	教育の充実について
状 況 等	第1次滝沢市総合計画で教育基盤の充実、学校教育の充実、学校給食の充実、地域力基盤醸成、文化芸術と社会教育の推進、みんなが主役のスポーツまちづくりと5つの基本施策を展開し、子どもから大人までの「一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち」を目指しております。

件 名	滝沢中央小学校について
状 況 等	滝沢中央小学校は、県内最大の児童数となっている滝沢小学校及び鶴飼小学校の学校規模の適正化を図り、もって、教室不足の解消等、児童の教育環境を整備すべく進めてまいりました。平成31年4月開校に向けて建設工事を進めております。 また、開校後にスムーズに学校運営を進めるため、校歌、校章等ソフト面の準備については開校準備委員会を組織して事業を進めており、所期の目的を果たしてまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

件 名	学校施設の充実について
状 況 等	学校施設の充実については、補助財源確保を進め、計画的に進めてまいります。

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	いじめについて
状 況 等	滝沢市立小中学校では、いじめに関するアンケートや全児童生徒との面談等を実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めているところであります。また、市教育委員会におきましては、いじめ問題に関係する機関や専門家を委員とする「いじめ防止等対策協議会」の実施、「いじめ防止等対策リーフレット」の全戸配布等を通じて、学校・保護者・地域が連携した、いじめ防止対策の推進を図っているところであります。 この「いじめ防止等対策リーフレット」にも示しておりますように、身近にいじめを感じた場合には、速やかに学校・教育委員会・関係機関等にご連絡いただきたいと思います。なお、対応が不十分で、状況の改善が見られない場合には、教育委員会担当課にご連絡いただきますようお願いいたします。

件 名	通学路の見直しについて
状 況 等	通学路につきましては、各小中学校が児童生徒の登下校の安全を最優先にして設定しております。また、市教育委員会では、毎年、道路課、防災防犯課、警察等と連携して、通学路の合同点検を実施し、危険個所の把握と改善に取り組んでいるところであります。 通学路に関して、児童生徒の安全確保のため見直しや改善が必要な場合には、随時学校及び関係各課にご連絡・ご相談いただきますようお願いいたします。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
件 名	少人数学級での指導等について		
状 況 等	<p>現在、岩手県では、小学校1・2年生、中学校全学年において、35人学級を導入しております。また、小学校3～5年生においても、35人学級を選択できるようになっております。</p> <p>市教育委員会といたしましては、各校の状況に応じて少人数学級の導入を進めるとともに、1学級の授業を2名の教員が担当するチーム・ティーチングを取り入れる等して、個に応じたきめ細かな指導・支援ができる学習環境の充実に努めてまいりたいと考えております。</p>		
件 名	小学生のみの下校について		
状 況 等	<p>本市では、小学生の登下校の安全を確保するためにスクールガードの取組を継続しております。現在、288名の皆さんにご登録いただき、ボランティアで児童を不審者等から守る見回り活動を行っていただいております。</p> <p>各学校におきましては、不審者から身を守るための方法について繰り返し指導しているところであります。地域の皆さんにおかれましても、子どもたちの下校時に、意図的に買い物や犬の散歩を行っていただくなど、不審者対策についてご協力いただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	高齢者を大切にせる教育について		
状 況 等	<p>各学校におきましては、学校行事や総合的な学習の時間等において高齢者の方々と直接触れ合う機会を設けるとともに、道徳の授業等を通して高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育むよう指導しているところであります。また、各地域におきましては、地域行事への参加、ボランティア活動、老人福祉施設の訪問等を行い、高齢者と交流し、高齢者を大切にしようとする気持ちを育てているところであります。</p> <p>教育委員会といたしましては、このような学校や地域での取組を支援してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	中学校の部活動の種類の違いについて		
状 況 等	<p>中学校の部活動につきましては、学校規模の大小により、部活動の数や種類に違いがありますが、各中学校では特色を生かした活動が行われているものと考えております。</p> <p>なお、自分の学区の中学校に希望する部活動がない場合には、希望する部活動がある学区外の中学校への就学を認め、希望する部活動を選択できるようにしているところであります。</p>		
件 名	いじめへの対応について		
状 況 等	<p>滝沢市立小中学校におきましては、いじめを認知した場合には、いじめられた子の立場で対応することを基本姿勢とし、被害者・加害者の両方の保護者と連携しながら、問題の解決に当たることとしております。学校がいじめへの対応について疑問等を感じた場合には、教育委員会担当課までご連絡・ご相談いただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	教員の言葉使いや言葉の選び方等について		
状 況 等	<p>教員の言葉使いや言葉の選び方等につきましては、特に児童生徒を指導する場面において、感情に任せることなく児童生徒の心に届くような言葉で指導するよう心掛けているところであります。今後におきましても、児童生徒の心を傷つけたり、信頼を失ったりする言葉使いはしないよう学校と教育委員会が連携して取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>現在、滝沢市では、目指す学校像として「正義と信頼の学校」を掲げ、教員自身が正義の姿勢を示すこと、教員が児童生徒、保護者と信頼し合う関係を築くことを目指して、学校づくりに取り組んでいるところです。今後も、この学校像の実現に向けて、保護者・地域との連携を深めながら取り組んでまいりますので、お気づきの点等ありましたら、教育委員会担当課までご連絡願います。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	教育委員会	課 名	生涯学習スポーツ課
-----	-------	-----	-----------

件 名	プールの設置について(他の市ではプール等があるが滝沢にはない)、大人が運動したくても中心地にしか配置されていない
状況等	プールの新設は建設費の関係から困難と考えられますので、一般開放している県立大学の屋内プール、「ゆびあす」(盛岡市余熱利用健康増進センター)、盛岡市立総合プールをご利用ください。また、体育施設としては総合公園体育館のほかに川前地区の東部体育館、大釜地区の勤労者体育館、篠木地区の多目的研修センターがあるほか、各地区にある学校の体育館も「学校開放」により申し込みを頂ければ利用可能です。

件 名	趣味やスポーツが行われている場所や時間を知る方法がほしい
状況等	趣味のグループ、サークルの紹介は滝沢市のホームページ「たきざわコミュニティ」内の「生涯学習・社会教育」に、スポーツイベント等については、滝沢市体育協会のホームページに掲載していますのでご利用ください。

件 名	スポーツ施設の充実について
状況等	現在市内には、利用できるスポーツ施設として4つの体育館、3つの野球場、2つのテニスコート、1つの陸上競技場(サッカー・ラグビー場)、また、各地区にある学校の体育館も「学校開放」により申し込みを頂ければ利用可能であり、新規の施設の拡充の計画はありません。

件 名	サッカー場や野球場を充実させて公式戦等ができるようにしてほしい
状況等	総合公園陸上競技場は、国体に合わせて全面を天然芝(洋芝)に改修したほか、平成29年度にラグビーゴールを整備したことからサッカーやラグビーの公式戦に利用されています。総合公園野球場は、プロ野球や高校野球の公式戦ができる規格ではありませんが、軟式の社会人野球や中学校の軟式野球の大会等の公式戦に利用されています。上位の公式戦を実施するためには施設の改修が必要となり、多額の改修費の面から施設改修は困難と考えられます。

件 名	日中のみの講座等が多く参加できない、60代の人たちも楽しめる行事やサークルがほしい
状況等	生涯学習スポーツ課で実施している講座やイベント等は、休日や夜間に実施しております。趣味のグループやサークルの紹介は滝沢市のホームページに、スポーツイベント等については滝沢市体育協会のホームページに掲載していますのでご利用ください。また、当課で毎年作成しております「生涯学習ガイド」には趣味のグループやサークルの紹介を掲載し、窓口で配布しておりますので参考としてください。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	教育委員会	課 名	文化振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	図書館の充実について（子ども達が生き生きと自分の力を伸ばせる環境づくり）
状 況 等	湖山図書館は新館開館2周年を迎え、蔵書数約8万8千冊、来館者は27万人を超えました。館内には親子で過ごせる読み聞かせコーナーがございます。また、行事としては、幼児・児童向けにミニシアター、おはなし会、夏・冬休み映画会のほか、夏休みには、しおり作りなどのワークショップも行っております。小学生向けの体験学習も、夏・冬休み期間に行っております。今後とも、子どもから大人まで広く市民の方へ利用いただくため図書館がより一層充実するよう努めてまいります。

件 名	文化・芸術の充実について
状 況 等	総合計画の基本施策「学び活かせる環境と文化芸術継承の確立」をもとに、教育委員会は関係団体との共催により芸術祭や郷土芸能まつりを開催しております。村から市になり、市の新たなシンボルとして、交流拠点複合施設ビッグルーフ滝沢が整備され、芸術祭や郷土芸能まつりもビッグルーフ滝沢にて開催されるようになりました。今後も市内各施設や芸術文化団体と連携しながら、市民の皆様が芸術文化を発信していく機会や、芸術文化にふれることのできる機会の提供に、引き続き努めてまいります。

部 名	教育委員会	課 名	学校給食センター
-----	-------	-----	----------

件 名	中学校での給食ありは大変ありがたいし、そのために引っ越してきた
状 況 等	滝沢市は小中学校全校に学校給食を提供しております。これからも、継続して安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供してまいります。

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応が悪い
状 況 等	市民からの苦情やご意見を踏まえ、人材育成の取組を更に充実させ、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、今後も職員に指導を行ってまいります。

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	市制について(村から市になって何が変わったのか)
状 況 等	<p>市制を実施したことにより、一部事務における権限委譲がなされ、市が県を介さずに直接サービス提供することが出来るようになりました。このことにより、市民の皆様にも最も身近である健康福祉分野の一部において、より地域の実情に即したサービスを迅速に提供できるようになり、利便性の向上につながっています。</p> <p>また、村から市に変わったことにより、企業等をはじめとした市外からのイメージが都市的なものとなり、企業誘致の促進に寄与しております。市となってからIPUイノベーションパークへ1社が事業所を立地し、今後さらに2社が立地する予定となっております、雇用増加にもつながってくるものと考えております。</p> <p>市制については、「市になったから自動的に何かは良くなる」というものではなく、「このようなまちをつかっていきたい」という市民の皆様の実現する一つの手段であり、またきっかけであると捉えることが肝要です。「住民自治日本一」に向け、市民の皆様が地域を創り、行政はそれを支えるといった形で、滝沢市として幸福感を育む環境づくりを推進してまいりたいと考えています。</p>

件 名	総合計画について(活気のあるまちづくりが必要、子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくりが必要、一人でも多くの縁結びにつながるような取り組みが必要)
状 況 等	<p>滝沢市では、平成27年度から第1次滝沢市総合計画に基づく市政運営を進めており、計画期間内の目標として「幸福感を育む環境づくりの基盤づくり」を掲げています。そのための具体的な行動計画として、平成30年度までの4年間を計画期間とした前期基本計画を定め、その中で市民の皆様が主体的に活動を行うための「地域別計画」と、行政がそれをサポートするための「市域全体計画」に分け、幸福感を育む環境づくりの基盤づくりを進めてまいりました。現在、来年度から平成34年度までの4年間を計画期間とした後期基本計画を策定しているところでありますが、後期計画においても引き続き、幸福感を育む環境づくりの基盤づくりに努めてまいります。</p> <p>計画の策定にあたっては、滝沢市民の皆様が何に対して幸福を感じるのかという調査を行い、その結果として、「健康」「人とのつながり」「所得収入」が滝沢市民の幸福実感に重要な三大要素として捉えました。これは、新しい施設を作り続けるような、モノによる充足ではなく、人とのつながりに代表されるココロの充足による幸福の方が重要視されているということを表しています。</p> <p>ご意見に頂いたとおり、活気のあるまちづくりや安心して暮らせるまちづくりは、幸福感の創出につながるものであり、そのためには市民の皆様が主体的に地域を創っていくこと、すなわち人とのつながりが必要不可欠であり、このことは非常に重要な点であると認識しています。これに関連し、第1次滝沢市総合計画においては、人とのつながりを通じた幸福感を育む行動の一例として、「幸福実感一覧表」を策定し、日々の生活から地域づくりまで、様々な場面において幸福感を育む一助として活用いただいております。</p> <p>市民の皆様におかれましては、第1次滝沢市総合計画の趣旨をご理解いただき、それぞれの地域別計画や幸福実感一覧表を参考として頂きながら、家族や仲間、そして地域といった「人とのつながり」を通じ、幸せを育んでいただきたいと思います。</p> <p>今後も引き続き、第1次滝沢市総合計画に基づく市政の推進にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	広域連携・地方創生について(市になっても盛岡のベッドタウンだけのイメージしかない、他の市町村にはない滝沢市オリジナルのサービスが必要ではないか、大学が複数あるが「学生のまち」とあまり感じない)		
状 況 等	<p>滝沢市は、その地理的及び文化的要件により古くから盛岡市との密接な関係にあり、現在でも市民の通勤・通学をはじめ、事業活動においても一体性を有しています。盛岡市をはじめとする「盛岡広域都市圏」を構成する近隣の8市町と、一体的な発展と住民福祉の向上に努めており、これからもあらゆる分野で連携・協力してまいります。</p> <p>また、本市の特徴である「大学・研究機関等の集積」を活かし、盛岡広域都市圏におけるICT関連産業の拠点形成、研究学園都市としての役割を担う“まち”を目指して、様々な取組を進めています。</p>		
件 名	広報・ホームページについて(広報やホームページの内容を充実させてほしい、広報の発行回数やページ数を減らした方がよい)		
状 況 等	<p>現在、広報たきざわは、1日と15日に毎月2回発行しています。</p> <p>1日は20ページを基本とし、市政の方針や事業など市民の皆様にお知らせしたい情報や興味を引く内容を掲載しています。15日は8ページを基本とし、翌月の世代別カレンダー(休日当番医や子どもの検診日程、いきいきサロンの日程など)を折り込んだ「お知らせ版」となっています。</p> <p>限られた紙面の中で、市としてお知らせしたい情報と市民の皆様が読みたい情報を融合させながら、読みやすく、かつ、分かりやすく提供するため、広報紙に関するアンケート調査(平成27年度実施)の結果を踏まえ、平成29年5月に広報紙をリニューアルいたしました。巻頭特集で市の魅力や政策などを分かりやすくお伝えしたり、たきざわインフォメーションのコーナーに市からの重要なお知らせを集約・整理したり、広報紙を読むきっかけづくりのための新コーナーを創設するなど様々な改善を行ったところです。このリニューアルに際し、若い世代の読者を新たに取り込むことを目的に、表紙と裏表紙を毎号カラーにしています。代わりに中ページやお知らせ版をモノクロにすることで、標準的な広報紙一冊当たりの作成に係る費用はリニューアル前に比べ安くなっており、経費の削減にも努めております。</p> <p>リニューアルの効果を検証し、今後の広報政策に資するため、平成27年度と同様の内容で広報紙に関するアンケート調査を本年度実施しました。若い世代の満足度が上昇しており、一定の目的を達成したものと考えています。今後、詳細な分析を進め、内容の充実に努めてまいります。</p> <p>広報たきざわの発行回数及びページ数(内容量)について、広報紙に関するアンケート調査(平成30年度実施)の結果、平成27年度同様に、多くないと感じている割合が高く、現在のところは現行の発行回数及びページ数が適切と捉えています。しかしながら、全国的には年12回とする自治体が7割を占めている現状もありますので、適切な発行回数について今後も検討を続けてまいります。</p> <p>限られた情報発信の機会をより有効に活用するため、広報紙の他、ホームページや回覧板、フェイスブックなど様々な手段を用い、今後も情報発信に一層努めてまいります。</p>		

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	アンケートについて(アンケートの目的について、アンケートの項目が多い)
状 況 等	<p>アンケートの調査内容は、第1次滝沢市総合計画基本構想(平成27年度から平成34年度までの8年間)に掲げている「幸福実感一覧表」と「暮らしやすさ一覧表」をもとに設定しています。設問内容は、各年代や生活の各場面で幸福感を育むための行動例などについて、基本構想策定時に多くの市民の皆様が参加した検討において、滝沢の将来像を実現するための想いを表したものととして考えられたものです。アンケート調査により、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えていらっしゃるかを定点観測し、基本構想に掲げる「幸福感を育む環境づくり」の進捗状況を測り分析することで、市民主体による地域づくりや市行政運営に活かしていくことを目的としています。アンケート項目が多く、市民の皆様にはお手数をおかけいたしますが、アンケート調査の目的をご理解いただき、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、アンケート調査の結果については、広報たきざわ及び市ホームページで公表しておりますので、ご確認ください。</p>

件 名	その他ご意見などについて
状 況 等	<p>市の将来へ向けた多くのご提言やご意見をいただき、ありがとうございます。すべて滝沢市に住んでいる皆様からの貴重な「想い」と考えております。</p> <p>特にもご提言やご意見が多かった商業施設や娯楽施設等の整備については、市としても中心となる商業集積地がないことが大きな課題として捉えており、現在策定中の第1次滝沢市総合計画後期基本計画の土地利用に関する基本的方向において、市役所周辺を対象とした民間開発により、日常的な生活サービスを提供する商業、業務等の各機能の向上を図り、買い物需要への対応や地域経済の活性化につなげようと検討を進めることとしております。</p> <p>いただいたご提言やご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいところとなるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	将来のあるべき姿と費用負担を踏まえたインフラ整備について(ハコモノの増設はせず市民の税負担を減らす、ビッグループ滝沢等これから管理費が生じる建物は造らないことが大事だと思う、数十年後に市税では対応できなくなる)
状 況 等	<p>長期的な視点をもって公共施設等を総合的かつ計画的に管理するため、滝沢市公共施設等総合管理計画を策定しました。その中では、規模を縮小しながら充実を図るという考えを基本としています。施設の統廃合、長寿命化及び更新等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減を図り、公共施設等の最適な配置を目指しています。</p> <p>また、現在、行動計画である滝沢市公共施設等総合管理計画に紐づく施設類型別の個別施設計画を策定中であり、施設ごとの詳細計画を定めるところです。</p>

件 名	財政運営について
状 況 等	<p>市の財政運営については、持続可能で安定的な財政環境を保つため、歳入歳出両面の最適化が求められることから、聖域を設けることなく制度の根幹まで踏み込んだ抜本的な見直しを徹底的に行い、可能な限り歳入の拡大と歳出の削減を図ることとして、平成27年度当初から財政構造改革に取り組んでおります。</p> <p>予算編成にあたっては、市税を始めとする限られた財源の有効活用に努めつつ、第1次滝沢市総合計画の市域全体計画の適切な展開のために市民ニーズを最大限反映させており、事業の優先度を勘案した無駄のない予算となっていると考えております。</p>

平成30年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見に対する回答について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
件 名	減税について		
状 況 等	<p>市の税制度につきましては、一部を除いて全国共通の仕組みが法律で規定されており、本市においても、法人市民税と国民健康保険税以外につきましては、地方税法に定められている標準的な税率で市民の皆さんに負担していただいているところです。これらの制度の変更につきましては国と地方との役割や、それに伴う財源措置を総合的に勘案して決定されるものとなることから、市単独での減税対策は非常に難しい状況となっております。今後とも、国の制度変更等を注視し、適切に対応してまいりますのでよろしくご理解のほどお願い申し上げます。</p>		
件 名	高齢化が進むと同時に核家族化が深刻な問題になると思うので三世帯同居の家族に対する免税や減税があれば滝沢に住みたいと思う人が増えると思う		
状 況 等	<p>税制上の優遇措置により定住促進を図るという方法については、一定の有効性はあると思われまじ、常に意識して検討しておく必要があるものと考えております。しかしながら、ご提案の三世帯同居などにかかる免税・減税等の施策については、施策による効果の一方で、租税公平性の喪失という問題、更には減税による減収への対応（歳入の補填）も見据える必要がございますので、慎重に対応してまいりたいと思います。</p>		
件 名	滝沢市民は盛岡市内へ仕事や憩いの場を求めて出ていくため税金が入ってこない		
状 況 等	<p>消費行動が他市に流れることによる税収の減については、当市のように大規模市隣接という立地条件の場合は回避できない側面があります。滝沢市の税収構造を見ると、市税に占める法人市民税の割合、人口に対する市たばこ税の金額などは、同規模市に比較して著しく低くなっていることから、ご指摘の状況も要素としてはありうるものと考えています。一方で平成29年にビッグライフがオープンし、平成31年度にはスマートインターの供用開始が予定されており、「滝沢市内に人が滞留する流れ」が出来つつあるものと考えており、今後の税収構造の変化に期待を寄せているところです。</p>		
件 名	税の負担軽減について		
状 況 等	<p>市・県民税は、一定以上の収入のある方に等しく負担していただく均等割と、所得金額に応じて負担していただく所得割額で構成されており、所得割につきましては、特定の市を除き全国统一の税率(税率は市6%、県4%)が採用されています。</p> <p>固定資産税につきましては、個別の資産価値に基づいて計算される税であるため、所得水準と連動していない点から、所有資産と収入の状況によっては負担が大きいと感じられる場合もあるかと思われまじ、課税方法の違いによるものですので、制度の趣旨を踏まえ、ご理解頂きますようお願い致します。</p> <p>また、制度の見直しにつきましては、国の制度改正等に従い遅滞なく対応してまいりますので、重ねてご理解頂きますようお願い致します。</p>		
件 名	確定申告の手続きはとても対応が良いと思う		
状 況 等	<p>対応につきまして評価頂き、感謝申し上げます。しかしながら、近年は申告会場も込み合う状況が続いており、申告相談にご足労頂く方々にはご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。</p>		
件 名	税金を下げる等市民の経済的な負担を下げる		
状 況 等	<p>本市では個人住民税や固定資産税、軽自動車税などにつきまして、地方税法で定められた標準税率で賦課させていただいております。</p> <p>標準税率を下回る税率での課税については様々な制限がかかる場合があるため、現在の制度においては難しい状況です。</p> <p>今後も適正課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>		